

ニチガスグループ初のテレビショッピング放映を3月1日より開始！

お客さまの光熱費のご負担を軽減できる ハイブリッド給湯器を当社社員がPR

～リンナイ社のECO ONE X5で、日々の家計にゆとりを～

ニチガスは、2026年3月1日(日)より当社グループ初となるテレビショッピングCMを放映開始し、年間の給湯光熱費を大幅に削減できるハイブリッド給湯器の販売をさらに促進いたします。

ハイブリッド給湯器は、ガス給湯器のパワフルな瞬発力と、電気(ヒートポンプ)の高い効率性を組み合わせることで、従来の給湯器に比べ光熱費の大幅な削減効果と省エネ性が魅力の製品です。今回のテレビショッピングCMには当社の社員も出演し、リンナイ社の『ECO ONE X5 (PLUG-IN MODEL)』の光熱費削減効果、省エネ性、ウルトラファインバブル¹について紹介いたします。本CM放映を通じて、ハイブリッド給湯器をさらに多くのお客さまに知っていただくとともに、ご家庭の給湯光熱費のご負担軽減、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



今が替え時篇



ウルトラファインバブル篇

■実施の背景:ご家庭の光熱費削減とエネルギー調整力

昨今加速するインフレおよび物価高騰により、家計における支出負担は増加の一途をたどっています。また、AI・データセンターによる電力需要の逼迫や再生可能エネルギー増加によるエネルギー需給の不安定化に伴い、電気・ガスの垣根を越えた「総合エネルギー調整力」の構築が求められています。ハイブリッド給湯器は、お客さまの光熱費を削減しながら、ゆくゆくはガスと電気の切り替えによって電力需要のピークカット、系統の安定化に貢献できる潜在力の高い機器であると当社は認識しております。

当社は、2026年1月末までに累計1万5,000台のハイブリッド給湯器を販売してまいりました。今回の放映を通じて、ハイブリッド給湯器の普及をさらに促進することで、お客さまの光熱費のご負担を軽減するとともに、現在開発中のスマートリモコンと組み合わせることで、お客さま宅のスマートハウス化・スマートコミュニティの構築を目指してまいります。

¹「ウルトラファインバブル」は、一般社団法人ファインバブル産業会の登録商標です。

■放映概要

- 放送開始日 : 2026年3月1日(日)
- 放映エリア : 関東エリア、静岡県、山梨県
- タイトル : ①今が替え時篇 (120秒)
<https://www.youtube.com/watch?v=9ebi6sMGF70>
②ウルトラファインバブル篇 (120秒)
<https://www.youtube.com/watch?v=GIJPZTYQ4qU>

■販売商品概要

- 販売商品 : ECO ONE X5 (PLUG-IN MODEL)+ウルトラファインバブル熱源機
- メーカー名 : リンナイ株式会社
- メーカー希望小売価格 : 101万6,290円(税込)
- CM限定価格 : 49万8,000円(税込)
※別途、取付工事費・処分費・部材費がかかります。

■ECO ONE X5 (PLUG-IN MODEL)のメリット

今回販売する商品をご使用いただくことで、お客さまにとって以下のメリットがございます。また、資源エネルギー庁が実施する『給湯省エネ2026事業』の対象製品で、最大で12万円の補助を受けながら導入可能です。

1. 給湯光熱費を大幅に削減

瞬発力の高いガス給湯器と効率性の高い電気ヒートポンプを切り替えることで、従来型ガス給湯器と比べて年間の給湯光熱費のランニングコストを約6万円削減できます²。

2. 省エネ性に優れ、CO2排出量を削減

従来型のガス給湯器と比べて、CO2排出量を約46%削減³する効果が期待できます。効率良くエネルギーを使うため、カーボンニュートラル実現に大きく寄与できます。

3. 日々の掃除をより楽にするウルトラファインバブル

ウルトラファインバブル発生装置は、お湯の水圧を変化させて水中の空気を気泡化し、さらに気泡をせん断して細かくすることで微細の泡を発生させます。さら湯と比較して、ウルトラファインバブルは水まわりの原因菌「ピンク汚れ」⁴や排水管汚れを洗い流しやすいことが確認されています⁵。

以上

² リンナイ社調べ。年間給湯+おいだき負荷18.3GJ LPガス料金:通期500円/m³ 電気料金目安単価:31円/kWh。従来型ガス給湯器:給湯暖房タイプ。国立研究開発法人建築研究所(協力:国土交通省国土技術政策総合研究所)による「建築物のエネルギー消費性能に関する技術情報」で公開されている平成28年省エネルギー基準に準拠した「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版) Ver.3.9.0」(6地域)による算出(2025年11月現在)。

³ リンナイ社調べ。年間給湯+おいだき負荷18.3GJ。電気:電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)-令和3年度実績- R5.5.26 環境省・経済産業省公表代替値。LPガス:温室効果ガス総排出量算定方法ガイドラインVer1.0 平成29年3月環境省。従来型給湯器:給湯暖房タイプ。国立研究開発法人建築研究所(協力:国土交通省国土技術政策総合研究所)による「建築物のエネルギー消費性能に関する技術情報」で公開されている平成28年省エネルギー基準に準拠した「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)Ver.3.9.0」(6地域)による算出(2025年11月現在)。

⁴ リンナイ社「[ウルトラファインバブル給湯器が清潔で健康な暮らしを提供, 2023年6月30日](#)」を参照。

⁵ リンナイ社「[家中にウルトラファインバブルを送り水まわりの汚れを軽減 ウルトラファインバブル給湯器の洗浄効果を検証, 2022年9月16日](#)」を参照。